

1. 県内感染症情報

1) 全数報告感染症（1~5類感染症）

[ ]は無症状病原体保有者を再掲  
結核が3件(松江圏域1件、出雲圏域1件、浜田圏域1件)、レジオネラ症が1件(松江圏域)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が1件(松江圏域)、侵襲性肺炎球菌感染症が1件(松江圏域)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が2件(松江圏域1件、出雲圏域1件)報告されています。

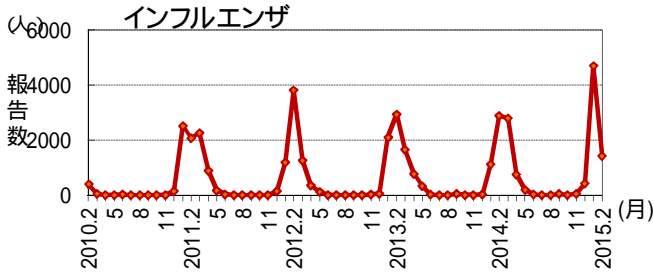
島根県保健環境科学研究所  
島根県感染症情報センター  
Tel : 0852-36-8188

\* 週報告医療機関からの報告患者数(4週換算) : 12月2,488件 1月6,083件 2月2,702件

2) インフルエンザ及び小児科定点報告

- ( )内は月の定点当たり報告数(4週換算) [ ]は週当たり定点当たり報告数
- インフルエンザ : (37.3)。全県では第3週[44.5]に警報レベル[30.0]を大きく超えた後、第6週[15.5]から漸次、第7週[10.6]、第8週[6.2]、第9週[5.0]へと衰退しています。第9週の時点では大田圏域[9]、松江圏域[7]及び出雲圏域[6]でやや多い状態となっています。
  - RSウイルス感染症 : (1.9)。全県では第48週[4.2]をピークに急速に減少しましたが、益田圏域(10)で第4週から患者報告数が増加しています。2014年7月からの累計患者報告数は、東部345件、中部449件及び西部154件となっています。
  - A群溶連菌咽頭炎 : (14.9)。松江圏域(32)で5月から患者報告数が多い状態が続いています。出雲圏域(11)でもやや多い状態となっています。鳥取県では全国でトップの流行となっています。
  - 感染性胃腸炎 : (28.8)。12月に鋭いピークとなり、その後半減しましたが、大田圏域(52)、雲南圏域(32)、出雲圏域(32)及び松江圏域(31)では患者報告数が多い状態が続いています。
  - 水痘 : (2.1)。10月から幼児の定期予防接種がスタートしています。雲南圏域(5)、出雲圏域(3)及び松江圏域(3)で患者報告数がやや多い状態となっていますが、2月の48件は過去5年の2月の件数(99~156; 平均121件)の約4割と少ない状態であり12月から同様の状態が続いています。
  - 手足口病 : (3.5)。10月から出雲圏域で患者報告数がやや多い状態でしたが、2月は出雲圏域(9)、益田圏域(6)及び大田圏域(5)で流行が拡大しています。九州地方・沖縄県に匹敵する流行となっています。

過去5年間の発生推移 (2010年2月~2015年2月 : 月4週で換算)



3) 眼科定点報告

2月の患者発生報告はありませんでした。

4) 性感染症報告

性器クラミジア感染症が10件、尖圭コンジローマが1件、淋菌感染症が7件の患者報告があります。

5) 基幹病院報告

感染性胃腸炎(ロタウイルス) : ノロウイルスが流行する季節ですが、ロタウイルスが11月以降継続して報告されています。  
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 : 2014年1年間の月平均患者報告数は39件でした。2015年1月、2月の月平均は26.5件と少ない状況です。

2. 病原体検出情報 (2014年12月~2015年2月までの検出結果)

インフルエンザはA香港型(AH3)が主流株ですが、2月(第7週)に益田圏域でB型が1例検出されています。感染性胃腸炎からはノロウイルスG2が多数検出されているほか、ノロウイルスG1、A群ロタウイルス、サポウイルスなどが検出されています。松江圏域、出雲圏域の手足口病からコクサッキーウイルスA6型が検出されています。コクサッキーウイルスA6型は発疹症からも検出されています。1月以降の肺・気管支炎からヒトメタニューモウイルス、ヒトボカウイルスが検出されています。

2014年12月から2015年2月までの診断名別病原体検出数 : 島根県保健環境科学研究所(一部抜粋)

診断名	アデノ		キコクAサツ	キコクBサツ	エコー			インフルエ	RS	ライノ	ヒトメタ	ヒトボカ	A群ロタ	ノロ		サポ	合計
	5	5	6	1	3	18	25	AH3	B					G1	G2		
インフルエンザ						1		89	2								92
咽頭結膜熱	1									1							2
感染性胃腸炎						2		1					3	1	19	2	28
手足口病				5													5
ヘルパンギーナ			1		1												2
咽頭炎											1						1
扁桃炎											1						1
肺・気管支炎									2	3	2	2					9
熱性疾患					1	2				1	1						5
発疹症				1													1

# 島根県感染症発生動向調査情報 (定点把握疾患 月集計)

島根県感染症情報センター  
(島根県保健環境科学研究所)

2015年 2月

平成27年2月2日～平成27年3月1日

区分	県		圏 域 別								年 齢 区 分										報告数推移 (今月)							
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	11月	12月	1月	2月	
インフルエンザ定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	1417	712	705	534	131	279	84	118	208	63	5	24	76	85	92	90	95	126	71	71	63	236	383	54	416	4710	1417	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	44	20	24	2	3	6	-	4	29	-	3	4	19	9	5	2	-	-	2	-	-	-	-	309	235	70	44	
咽頭結膜熱	34	22	12	7	4	14	-	6	3	-	1	3	12	6	4	1	1	2	2	-	-	2	-	55	59	30	34	
A群溶連菌咽頭炎	342	170	172	226	13	55	7	15	24	2	1	2	11	24	37	53	33	49	31	24	18	52	7	336	341	353	342	
感染性胃腸炎	663	347	316	214	63	161	104	46	73	2	8	25	90	47	66	76	66	61	41	38	23	91	31	504	1178	706	663	
水痘	48	27	21	21	9	15	2	-	1	-	-	1	13	11	7	6	2	4	1	-	-	2	1	84	92	70	48	
手足口病	81	48	33	7	-	45	10	-	19	-	-	4	39	14	5	11	1	4	1	1	-	1	-	14	29	30	81	
伝染性紅斑	5	5	-	1	1	2	1	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	9	9	5	
突発性発疹	40	22	18	9	3	17	-	3	8	-	1	17	20	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	55	42	40	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	9	-	-	
流行性耳下腺炎	21	13	8	3	-	4	1	3	3	7	-	-	1	3	2	2	4	2	2	2	1	2	-	66	51	50	21	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	1	-	
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	3	3	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	2	2	3	3	
マイコプラズマ肺炎	4	3	1	1	-	-	-	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	4	8	4	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタ)	2	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	

月の週数により補正しています。

# 島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

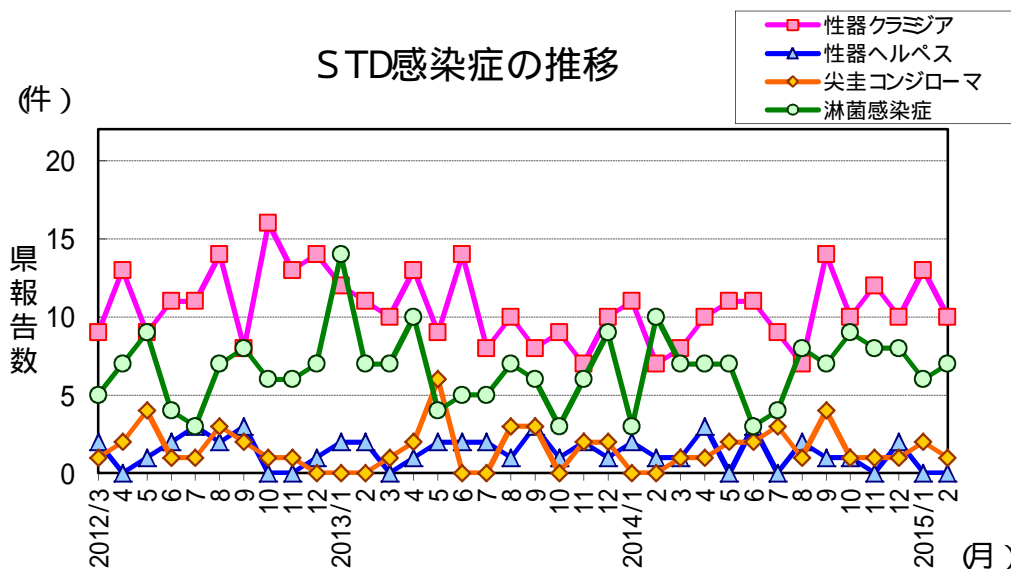
島根県感染症情報センター  
(島根県保健環境科学研究所)

2015年 2月

平成27年2月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)															
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2月	
STD定点	6			2	2	2	0																						
性器クラミジア感染症	10	7	3	4	4	2	-	-	1	3	3	3	-	-	-	7	8	10	11	11	9	7	14	10	12	10	13	10	
性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	3	-	2	1	1	-	2	-	-	
尖圭コンジローマ	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	2	2	3	1	4	1	1	1	2	1	
淋菌感染症	7	6	1	3	-	4	-	-	-	1	4	1	1	-	-	10	7	7	7	3	4	8	7	9	8	8	6	7	
基幹病院定点	8			1	3	3	1																						
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	33	22	11	-	7	26	-	1	-	2	-	-	1	4	25	41	37	36	42	42	39	43	42	47	36	25	20	33	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

### STD感染症の推移



### 薬剤耐性菌感染症の推移

